

EU Indicators

欧州経済指標コメント：10月ユーロ圏経済信頼感指数

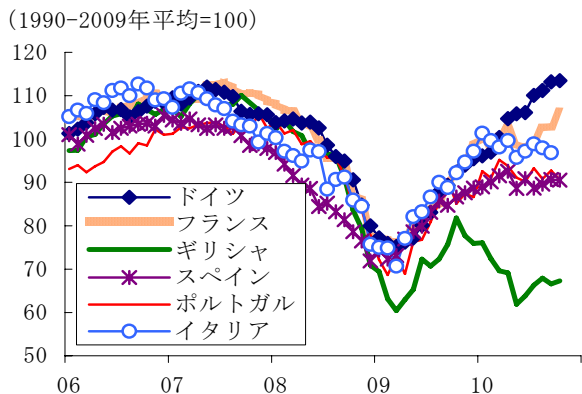
発表日：2010年10月29日(金)

～ユーロ高の逆風下でも金融環境は緩和的な水準にある～

第一生命経済研究所 経済調査部
主任エコノミスト 田中 理
03-5221-4527

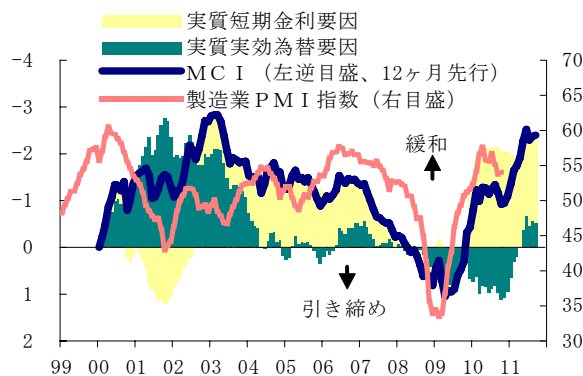
- ・ ユーロスタット公表の10月のユーロ圏の経済信頼感指数（企業および家計マインドの合成指数）は、前月から0.9%ポイントの改善。主体別の内訳は、サービス業、小売業、家計が前月から横這いとどまったものの、製造業が2008年3月以来のプラス転換、建設業が僅かにマイナス幅が縮小した（表）。
- ・ 国別には、ドイツ、フランス、イタリアなど、前月（9ヶ国）を上回る10ヶ国が改善した。加盟国間の景況格差は引き続き顕著だが、ギリシャ、スペイン、ポルトガルなどの景況悪化に歯止めが掛かってきており、先進国景気の回復が僅かながらも周辺国に浸透しつつあることが窺える（左図）。
- ・ 久方振りのプラス転換となった製造業では生産・雇用の先行きや内外受注判断が何れも改善。横這いとどまったサービス業と小売業でも需要・雇用の先行き判断が何れも上向いている。
- ・ 為替と金利から計算したユーロ圏のマネタリー・コンディション・インデックスは、足元のユーロ高進行にもかかわらず、金融環境がなお緩和的である可能性を示唆している（右図）。ドイツのIfo景況感や製造業PMIなどがユーロ高の逆風下でも改善を続けているのは、①実効レートベースでのユーロ高進行の程度が限定的であること、②大幅なユーロ安が進行した後の反発であること、③為替レートの影響が波及するまでにタイムラグが存在すること、などが影響していると思われる。

■ユーロ加盟国の経済信頼感指数



出所：DG Ecfm

■ユーロ圏：MCIと景況感



注：MCIは1999年1月=100とした水準。

出所：DG Ecfm、Markit

■ユーロ圏の業況判断指数と経済信頼感指数

	2009		2010									
	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月
業況判断指数 (BCI)	-1.14	-0.77	-0.64	-0.47	-0.10	0.33	0.39	0.40	0.64	0.72	0.76	0.98
経済信頼感指数 (ESI)	91.9	94.1	96.0	95.9	97.9	100.6	98.4	98.9	101.1	102.3	103.2	104.1
製造業	-18.8	-16.0	-13.8	-12.8	-9.9	-7.3	-6.4	-5.6	-4.0	-2.9	-1.7	0.5
サービス業	-3.7	-2.5	-0.8	0.8	1.3	5.5	3.5	3.9	6.5	7.1	7.8	8.3
小売業	-11.0	-10.0	-5.0	-8.5	-6.3	-1.3	-5.9	-5.6	-4.2	-3.3	-0.9	-1.1
建設業	-26.4	-28.3	-29.1	-28.5	-24.6	-24.6	-28.3	-30.1	-28.6	-28.5	-26.2	-25.3
家計	-17.3	-16.1	-15.8	-17.4	-17.3	-15.0	-17.8	-17.3	-14.0	-11.4	-11.0	-10.9

出所：DG Ecfm

本資料は情報提供を目的として作成されたものであり、投資勧誘を目的としたものではありません。作成時点で、第一生命経済研究所経済調査部が信ずるに足ると判断した情報に基づき作成していますが、その正確性、完全性に対する責任は負いません。見直しは予告なく変更されることがあります。また、記載された内容は、第一生命ないしはその関連会社の投資方針と常に整合的であるとは限りません。